

事業名	四川省教育交流事業			調査番号	104
細事業名	四川省教育交流推進事業費	財務コード	552601		
担当部課室	教育委員会	高校教育 課	指導 担当 (内線)	8339	

事業の概要

実施期間	始期 H 7 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 山梨県と四川省相互の教育関係者	その対象をどのような状態にして 相互に隔年で教育使節団を派遣している	結果、何に結びつけるのか 両国の交流促進, 相互理解と友好・親善
内容	平成7年9月に本県と四川省との友好県省締結10周年を記念して相互の教育交流が実現した。その後、隔年で相互に教育使節団が派遣されることとなり、10月中・下旬に6泊7日で派遣される5名によって、学校訪問(小・中・高・大・特別支援)や教育施設・文化施設視察が行われている。近年では、平成23・26年度に山梨県教育関係者を派遣、平成25・27年度に四川省教育関係者が訪日した。但し、平成22・24年度については国際情勢の悪化から事業が中止となり、平成27年度には四川省側の政策変更によって6泊7日の日程が急遽4泊5日となった。平成28年度は訪中の機会となる。		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標 (回)	目標	1	1	1	1	1	1	1
	実績(見込)	1	1	1	1	1	1	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		944	1,032	848	956	788	1,161	1,117

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	両国が隔年で相互に訪問し、学校・教育施設等の見学・視察をする中で、互いの教育事情の違いや学ぶべき点について、情報の交換や共有を行い、相互理解と友好・親善の貴重な機会となっている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の 必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(山梨県と友好県省の関係にある四川省との教育に関する相互理解と友好・親善交流事業である。)		
有効性 (成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	友好県省の関係にある両者が相互に教育使節団を派遣して両国の親善に努めることで、両国の交流を促進し、相互理解と友好・親善が深まる。		
見直しの 余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの 必要性	有	平成27年度に四川省側の政策変更により、滞在日数5日を超える海外出張についての許可が得られなくなったため、今後も四川省側の日本滞在日数は現行の7日から5日に変更する必要がある。また四川省側の打診に伴い、四川省側の日本派遣規模の変更(5人・6人)の見直しを図る必要もある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等 の変更	説明	四川省側の政策変更に伴い、四川省側の日本滞在日数及び派遣人数の実施内容を変更する必要がある。
--------------	----	------------------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。